

# 福岡大学病院で実施されている人を対象とする医学系研究に関する情報公開

整理番号

16-4-11

研究課題名

悪性リンパ腫患者に発生した発熱性好中球減少症に関する後方視的研究

研究責任者

腫瘍・血液・感染症内科

教授

高松 泰

試料・情報の利用目的・方法

福岡大学病院において悪性リンパ腫患者を対象に、CHOP療法(シクロフォスファミド、ドキソルビシン、ビンクリスチン、プレドニゾロン)による発熱性好中球減少症(febrile neutropenia : FN)の現状把握を目的とします。さらにFNに対するレボフロキサシン(LVFX)の有効性のエビデンスを創出するとともに、LVFXによる治療成功に関与する臨床事項も検討します。

研究期間： 開始日

病院長許可日

～

2019/4/30

(予定終了日)

試料・情報の項目

検査データを含む診療録に記載されている情報

試料・情報の管理責任者

研究責任者：高松 泰

利用する者の範囲

研究責任者及び研究責任者が指名した研究者(福岡大学内)

他の研究機関への試料・情報の提供先：

※ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止しますので、下記へご連絡ください。

連絡先： 高松 泰

電話番号：福岡大学病院(代表)092-801-1011

福岡大学病院 病院長